



2020年3月17日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 う る る
 代 表 者 名 代表取締役社長 星 知 也
 (コード番号：3979 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取締役財務経理担当役員 近藤 浩計
 (TEL. 03-6221-3069)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表した2020年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	EBITDA(※)	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,314	百万円 △329	百万円 △366	百万円 △367	百万円 △389	円 銭 △118.60
今回修正予想(B)	2,400	△180	△215	△215	△220	△65.22
増減額(B-A)	86	149	151	152	169	—
増減率(%)	3.7	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2019年3月期)	2,243	451	429	428	257	79.05

(※) EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

2. 業績予想修正の理由

売上高に関しましては、当社主力サービスである入札情報速報サービス「NJSS（エヌジェス）」において、当初は前期実績並みの売上高を予想しておりましたが、中期経営計画に掲げておりました営業プロセスの最適化が順調に進捗したことが有料契約件数やARPU（一件あたり日割り売上高）の成長に繋がり、これにより当初の予想を上回る見通しとなりました。

利益に関しましては、連結売上高が当初の予想を上回ったこと、2020年2月14日開示の2020年3月期第3四半期決算短信にて記載いたしましたNJSSにおけるプロモーション施策をはじめとする検討中の投資について費用対効果を精査の上で一部の実施を見送ったこと、NJSSにおける営業プロセスの最適化を実行する上で発生を見込んでいたコンサルティング費用の抑制等により、当初計画よりも損失額が下回る見通しとなりました。

当第4四半期につきましても、引き続き各セグメントにおいて積極的に投資を実行していく予定であるものの、2020年3月期通期において当初計画よりも損失額が下回る見通しです。

以上により、2020年3月期は、売上高、EBITDA、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みであることから、業績予想を修正することといたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合があります。

以 上